

## 赤岳～横岳～硫黄岳 山行報告書



【日程と天気】 2019年3月9日～10日 晴れ/曇り

【メンバー】 CL岸野、宮城、堀田（報告）

3月9日 美濃戸（赤岳山荘）－赤岳鉱泉

3月10日 赤岳鉱泉－文三郎尾根－赤岳－横岳－硫黄岳－赤岳鉱泉－駐車場

昨年末より趣味に打ち込み、毎晩 遊び呆けていた堀田です。

働き者の妻に「八ヶ岳計画書」を手渡すと

「山いくの?」「たけし君、まだ遊ぶの??」「ほえ～!」とわざとらしい反応・・・  
ぐぬっ!! (—\_—) ご存じだったくせに・・・(—\_—)!!

でもさー! 姉さん女房にヤンヤヤンヤ言われても、俺だってやっぱ男つつーとこあるじゃないですか。船か港かで言ったら、やっぱ船なわけだしーちょっと反抗しちゃおうかなーみたいなサービス精神? やっぱあるし。

めげずに元気に登ってきたので、真面目に報告します・・・

3月10日（AM6:20）南八ヶ岳縦走スタートです。



前日よりお世話になった赤岳鉱泉を出発します。

#### （赤岳鉱泉～文三郎尾根～赤岳山頂）

文三郎尾根は階段等すべて雪で埋もれ、急傾斜の雪面となっていました。文三郎尾根分岐より赤岳へと向かう岩場も雪をかぶった急階段となり、緊張感はあるものの風は弱く、ピッケルを雪面に刺しつつ慎重に進めば問題ありませんでした。

今年は雪が少ないのかな??



雪の文三郎尾根



赤岳山頂

「良い天気☀️」最も大事な装備です

### (赤岳～横岳)

赤岳展望荘までの急斜面はアイゼンの効きも良く無雪期よりもかなり楽に降りられると感じました、  
展望荘より先の梯子・岩場は夏場と変わらないくらい殆どの鎖が出ており想像していたよりは安全でしたが、もちろん雪が着いているので慎重に行動する必要がありました。



横岳へ向かいます



振り返れば赤岳



てくてく進みます



横岳到着 (12:00)

### (横岳～硫黄岳)

最も危険なのでは？と想像していた「カニのヨコバイ」も雪が少ない為なのか？  
ゆっくり慎重に歩みを進めれば問題はありませんでした。

当初、休憩場所に予定していた「硫黄岳山荘」は風の通り道となっており、  
屋根まで雪で覆われていました。

硫黄岳山頂は積雪も少なく殆ど風がなかった為、穏やかな山頂を楽しむ事が出来ました。



穏やかな硫黄岳山頂 (13:30)



素早く下山です

私にとっては4ヶ月ぶりの山行。天気の良い週末で、コース自体はしっかりと踏み固められていたこともあり 安全に山行を終える事ができました。好条件に恵まれ、比較的距離が長いながらも、のんびり歩く事ができた今年初登山。

CLをはじめお世話になった皆様、ありがとうございました。

